

へんじも情報

INDEX

組合見聞録

高知県鉄骨構造協同組合 ————— 01

中央会だより

ものづくり担い手育成研修のご案内／消費税相談窓口 ————— 03

組合いんふおめーしょん ————— 04

ものづくり・商業・サービス補助金2次公募結果 ————— 05

最低賃金の改定のおしらせ ————— 06

青年部情報：雄飛 ————— 07

PickUp！先進組合 ————— 08

施策情報

中小企業庁：専門家派遣事業のご案内 ————— 09

高知高齢・障害者雇用支援センター：障害者雇用納付金制度の対象事業主が拡大 ————— 10

飛耳長目 ————— 11

県内の景況動向(2014年9月) ————— 13

高知県鉄骨構造協同組合

理事長 藤原 勝彦 氏

＜組合プロフィール＞

所在地：高知市朝倉己 253 番 5 号コーポ鏡岩 PART II 101

TEL：088-821-9420

組合員数：24 名

設立：平成 22 年 8 月

主な事業：大臣認定取得に必要な性能評価申請に係る支援

組合員の取り扱う資材の共同購買

建築物の強度に関わる重要な材料

“鉄骨”の供給を通して、生命と財産を守ります

需要量はピーク時の3分の1、
業者数は半数を割る厳しい
業況の中で、組織を再編

我々は建築用の鉄骨を製造する事業者です。取り扱う鉄骨や業況のことをお話すると、鉄骨とは鋼材（H形鋼、角形鋼管、厚板）を加工したもので、これらを使った建築の構造を鉄骨構造といい、鉄骨造・S造とも呼ばれています。建築物に使用される鉄骨の全国における需要量は、平成2年の約1,200万トンを経ピークに減少し、平成21年度には400万トンを割り込みました。それに伴って業者数も4,500社ほどから2,100社まで減少しました。その頃には、本県においても過当競争から受注量や単価が下がる非常に厳しい業況を迎えており、本組合の前身となった組織内部において、求められる変革に対応できない業者や取り組み意識に温度差が生じていました。そこで、組織の再編に取り組みることとなり、組織を解散し、改めて業界の使命や役割、これからの組織の活動目的を確認し合ったメンバーで本組合を設立し、新たなスタートを切ることとなりました。

その後の業況は徐々に回復基調に転じ、直近の平成25年度の鉄骨需要量は、耐震や消費税増税の駆け込み需要に伴って550万トンを超え、受注量・受注単価ともに改善しています。しかしながら、公共施設の耐震需要はあと数年で終わると見込まれていることから、今後の需要量に関しては楽観視できないのが現状です。

共同事業を通して技術力向上・人材育成を図り組合員の経営力を強化

組合活動としては、まず組合員の鉄骨製作工場が国土交通大臣の認定を取得するの必要となる性能評価申請に係る支援を実施しています。少し詳しく説明しますと、大臣認定とは建築基準法に基づき、鉄骨製作工場において製作された鉄骨溶接部の性能について、評価に基づき大臣が認定するもので、その性能評価は、建築物の規模と使用鋼材によって5種類（Sグレード、Hグレード、Mグレード、Rグレード、Jグレード）に区分され、それぞれの評価基準に基づく審査を5年毎に受ける必要があります。組合員の工場がこの審査を受けるための申請書類の作成をはじめ、評価基準を満たすための工場の運営管理など、事務局と青年部が工場に向いてサポートをしています。支援実施にあたっては、上部団体の一般社団法人全国鐵構工業協会（以下「全構協」）の事業を活用しています。それと青年部が担当している理由は、自社以外の工場を見る貴重な機会になることと、性能評価申請支援を通して自身のスキルアップにも繋がると考えているからです。

その他には、錆止め塗料をはじめ鋸刃及び業務用車両といった資材の共同購買、組合員の福利厚生の実施を図るための各種保険・共済制度を取り扱っており、全構協を通じてスケールメリットを活かした事業を実施しています。

また経済事業だけでなく、人材育成にも積極的に取り組んでいます。先に述べた大臣認定にあたっては、鉄骨製作管理技術者や建築鉄骨検査技術者の有資格者が求められており、その他にも業務上では様々な資格が必要となります。そこで組合では、溶接部分に生じた微細な傷や亀裂を壊さずに超音波を使って見つける超音波探傷検査に関する研修会の開催や、溶接技術など外部機関が実施する講習会情報の提供を通じて、組合員従業員の資格取得の後押しをしています。さらに、次世代を担う後継者育成の観点から青年部活動にも力を入れており、全構協が主催する合宿形式の研修には毎年2〜3名の青年部員が参加して、資質向上を図るとともに、県外との人的ネットワーク形成の場にもなっています。

経営の安定化・従業員の待遇向上を図り、業界のレベルアップを目指す

今後の取り組みとしては、まずは業界のレベルアップを目指すことです。我々の業界は、ゼネコンや設計業者と元請・下請関係にあつて、厳しい経済情勢下では自分たちの要求を出しにくいところがあります。そのため、製品の品質向上を図るなど価格交渉力を身に付け、適正価格での取引を実現することで経営の安定化を図っていくことは重要だと考えています。

その次に、従業員の待遇向上です。具体的には賃金水準を引き上げたいと考えています。というのも、最近の受注量・単価の回復による業況改善を、従業員の給与に反映するまでには至っていないことから、先に述べた適正価格での取引を実現して、収益性を高めることで、従業員の待遇向上に繋げていければと考えています。

それから見積に関するところで、我々の業種は見積作成に時間と労力を要し、そのため他県では共同積算システムを導入しているところもありますが、相手方の理解を得ながら見積作成にかかる負担相応の費用を頂けるように働きかけでいきたいと考えています。

また、昨年度から、高知県に公共構造物のS造化に関する陳情をしています。この



組合HOT NEWS

**皆さんのお住まいは大丈夫ですか？
鉄骨造の住居や店舗、屋外設置の
非常階段など錆・腐食による劣化に
ご注意ください！**

もしご心配な部分があれば、当組合までご連絡下さい。
安全面や補修の必要有無など簡易なチェックを無料で致します。



活動は鉄骨需要の増加を図るためのもので、今後も引き続き取り組んでいく考えです。

その他には地域貢献活動として、公園遊具の無料点検や軽微なものの補修を以前行っていました。また、新たな取り組みとして、昨年6月に組合員工場から排出する鉄スクラップを回収して再資源化した収益を高知県に寄付しました。今年も高知県と、高知市に寄付を予定しています。

さらに、我々の業界を将来担う人材の発掘に繋げるよう、これから働く若い世代に知ってもらふ機会にと工業系の学校に出前講座を行っています。これからは普通高校にも幅広くPRするようにしていきたいと思っています。

ものづくりの基盤技術強化を図る研修会等を開催

— ものづくり担い手育成事業受託業務 —

本会では、本年度も高知県から標記業務を受託して、県内ものづくり企業における生産性の向上による受注確保や受注機会の拡大に繋げるため、ものづくりに係る技術の習得を図る人材育成研修を開催しています。

■□開催報告 — 機械加工技術者研修 — ■□

県内企業で機械加工に従事する方を対象とした「フライス盤技術研修」(9月20日・27日)を香南市野市町「ポリテクカレッジ高知」にて開催しました。

研修では、ポリテクカレッジ高知 非常勤講師 岡本寛氏より切削加工に関する講義の後、フライス盤を使い技能検定3級レベルの課題制作に取り組みました。



■□開催案内 — 参加者募集！ — ■□

汎用旋盤加工技術研修

●開催日時 **11月26日(水)・27日(木)《計2日間》**

両日とも午前9時～午後5時

●開催場所 ポリテクセンター高知(高知市棧橋通4-15-68)

【研修概要】 汎用旋盤(四つ爪チャック)を使用し、技能検定3級レベルの課題制作を通して、加工方法の検討や段取りなど旋盤作業に関する生産手段の変更や工程改善等の問題解決能力の習得を目指します。

【受講料】 **無 料**

【募集人員】 8名(※先着順)

【申込締切】 11月14日(金)

超音波探傷UT1研修

●開催日時 **12月6日(土)・20日(土)《計2日間》**

両日とも午前8時30分～午後5時45分

●開催場所 県立高知高等技術学校(高知市仁井田1188)

【研修概要】 超音波探傷に関する基礎知識、超音波探傷器を使って操作方法や実際に試験片の測定を通して、(一社)日本非破壊検査協会が実施するUTレベル1の技能習得を目指します。

【受講料】 **5,000円**

【募集人員】 10名(※先着順)

【申込締切】 11月21日(金)

<お問い合わせ先> 高知県中小企業団体中央会 連携推進部 古谷・曾我部
TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434



消費税引上げ後の課題等に関する相談窓口をご活用下さい！

本会では、本年4月からの消費税率引上げを受けて、中小企業組合等における消費税に係る会計処理をはじめ、消費税価格転嫁等の諸課題に関する相談を受ける窓口を設置し、本会指導員が常時相談に対応するほか、原則毎週水曜日に税理士による助言を致します。また、皆様のもとに専門家を派遣して相談に応じることも可能ですので、お気軽にご活用下さい。

無 料

【相談員】 川越税理士事務所 所長 川越宏一氏

また当窓口において、来年10月の消費増税(10%)に向けたカルテル組成に関する相談も受けております。

<お問い合わせ先> 高知県中小企業団体中央会 連携推進部 古谷・曾我部
TEL 088-845-8870 E-mail info@kbiz.or.jp



組合いんぷおめーしょん

飾りパンコンテストを開催しました

—高知県製パン協同組合—

高知県製パン協同組合(辻永晃理事長)では、去る9月21日(日)にイオンモール高知にて「第4回飾りパンコンテスト」を開催しました。

このコンテストは、これまで機会の少なかった地方の製パン業者の技術発表の場を設けることを目的に開催され、当日は組合員や製パン技術を学ぶ学生などがそれぞれ工夫を凝らした作品88点を出品。出品作品の中からグランプリや高知県知事賞、高知市長賞など各賞が決定されました。

当組合は、今後、このコンテストを毎年開催の恒例行事として定着させることに取り組んでおり、更なる技術の向上や高知ならではのパンの普及活動が期待されます。



リサイクル自転車の即売・無料点検を実施

—高知県自転車二輪車商協同組合—

高知県自転車二輪車商協同組合(戸梶利夫理事長)では、去る9月21日(日)に高知市中央公園で開催された第24回交通安全ひろば(交通安全ひろば開催実行委員会主催)にて、リサイクル自転車の販売及び無料点検を実施しました。

当日会場には、リサイクル自転車20台を用意し、来場者が購入を希望するリサイクル自転車に氏名等を記入したカードを入れてもらい抽選を行い、当選者には防犯登録ステッカーを貼付して販売しました。また、自転車に安全に乗って頂けるよう会場内に持ち込まれた自転車の無料点検サービスも実施して来場者に好評でした。



高知家のハッピースマイルフォトを開催します

—帯屋町一丁目商店街振興組合—

帯屋町一丁目商店街振興組合(文野達朗理事長)では、高知県民の2000枚の写真を募集しモザイクアートを作成・展示する「ハッピースマイルフォト」を実施することとしており、ご家族で、カップルで、友達と、かわいいペットと一緒に、たのしい笑顔の写真を募集しています。応募方法はメールのみとなっており、応募いただいた写真は、12月13日から来年1月13日に中央公園で開催されるイルミネーションフェスタのシンボルツリー下につくられる巨大なモザイクアートの1ピースとして展示されます。さらに、11月1日より24日まで、アーケードに不思議な3Dトリックアートも登場しますので、是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

「ハッピースマイルフォト」応募先 Mail: obiyamachisuji@gol.com

締切 11月24日



壱番街劇場を開催します

—壱番街商店街振興組合—

壱番街商店街振興組合(小林和子理事長)では、高知大丸本館屋上に特設テントを設置して壱番街劇場を開催します。

壱番街劇場は11月の毎週末(土・日・祝日)を公演日とし、高知県内で活動している芝居、音楽、ダンスなど様々な団体が芸能を披露いたしますので、11月の週末はぜひ商店街までお越し下さい。また、11月1日(土)にはオープニングイベントとして、「よしもと×壱番街 エンタメ☆グランプリ2014」を開催します。同イベントでは吉本興業の坂田利夫氏や商店街関係者を審査員として、県内からお笑い、ダンス、ジャグリングなど様々なパフォーマーが参加してその技を競い合う予定となっております。開催は午後4時30分(予定)からとなっておりますので、ぜひこちらをご覧ください。



“組合いんぷおめーしょん”のコーナーを組合活動のPR、イベントなどの告知にぜひご活用下さい！
掲載は無料です。本会までどしどし情報をお寄せ下さい。

平成25年度補正 ものづくり・商業・サービス補助金 2次公募の公募結果について

本会では、国の平成25年度補正予算による中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業「ものづくり・商業・サービス補助金」の2次公募を行い、地域採択審査委員会および全国採択審査委員会において厳正に審査を行った結果、以下のとおり38件を採択することといたしました。

採択者名称	事業計画名
株式会社末広	高知の地域資源を使ったスイーツを特産品とする地産外商推進計画
株式会社建商	手摺・フロントサッシ・面格子のアルミ製品生産拡大を図る機械設備の導入
高木酒造株式会社	特定名称酒品質向上と設備・製造工程改善による競争力強化
有限会社濱田海産	高知県初となる蒸気ボイラーシステムと木質ペレットボイラー導入による商品力強化
株式会社岡林農園	主力看板商品「飲むジュレ」増産に対する課題解決型設備投資
株式会社大進商工	CNC旋盤導入による生産体制の強化と新規市場開拓
株式会社飛鳥	企画出版の“効果的・効率的全国展開”を実現する、新たなシステム・機械装置の導入
有限会社太陽舎クリーニング	水洗・ドライ両面対応環境対応型クリーニングの実施
株式会社キタムラコンピュータ	「勤務割」、「タイムレコーダ」、「勤怠管理」統合パッケージソフトウェアの開発による統括的な勤務・勤怠管理サービスの提供
有限会社西岡酒造店	増産体制を確立する為の課題解決策として、充填・打栓ラインを導入する。
室戸海洋深層水株式会社	室戸海洋深層水製塩工場の高効率化と化石燃料の削減を目的とした設備投資
有限会社松村鉄工所	高性能ホブ盤の増設による生産性向上と新規分野への受注拡大
株式会社リーブル	高精細印刷を活かした自費出版事業の生産性向上のための簡易色校正機の導入
株式会社エスイージー	高効率高精度な高周波焼入プロセスの構築
プレジール	自動クッキー成型機導入及びオープン増設による「高機能クッキー」と「高知県産品を活用したクッキー」の生産体制強化
株式会社信貴精器	高硬度の難削材の高精度加工を高知工場で一貫して行う体制の構築
KHK有限会社	イベント・ブライダル演出及び観光集客手段として低価格プロジェクションマッピングの提供
株式会社ダイセン	品質・コスト・納期の改善を図り、CO2削減による環境保全を実現する新たな機械設備の導入
有限会社高知サンライズ	アレルギー体質の方に特化した新たなクリーニングサービスの実施
株式会社高陽堂印刷	大型無線綴じラインと行程管理システムを基盤とした生産性向上と県内外販路開拓
株式会社ナイフアンドフォークカンパニー	高知県産食材を活用した新商品の開発と製造を実施するベーカーリー事業
有限会社上田電機	クレーンの制振制御技術の高度化による競争力の強化
有限会社濱川商店	リキュール用瓶詰ライン導入による生産効率向上、品質向上、競争力強化、短納期化
株式会社ツツラ	板金用3次元CAD/CAMシステムの導入による事業の生産性向上、及び売上・収益の向上

採択者名称	事業計画名
株式会社アイティエス	災害時における避難・誘導の災害インフラ機器の試作開発
有限会社四国浄管	災害対策としての地下貯蔵装置の試作及び耐久試験
司牡丹酒造株式会社	高品質な純米酒の醸造時のフレッシュ感(新鮮な品質)を維持するための設備導入
四万十コンクリート株式会社	環境に配慮した、ポーラスコンクリート製品の製造設備の導入
シネマ四国	D C P機材の導入による非劇場映画会・移動上映会の充実と活性化
有限会社泉利昆布海産	品質管理、衛生管理の向上を図り、おぼろ昆布、白板昆布の付加価値向上、販路拡大を目指す。
有限会社西川製作所	鳥獣対策器具 くくり罠「わな造君」の改良製造のための設備導入
辻製油株式会社	未利用資源を有効活用した製品の市場拡大に向けた設備導入事業
ケイエスエー・プロテック株式会社	要介護者見守りサービスの開発と実用化実証事業
土佐食株式会社	アジア市場に向けた新商品開発及び製造プロセス強化
小島水産有限会社	県産養殖魚加工工程の高衛生化、高品質化、効率化による商品付加価値向上
株式会社シーフロアコントロール	高知県内初の裏表の異なるメタルジグ製造設備の新設及び新商品開発
株式会社黒潮町缶詰製作所	地域素材を活用したグルメ食品(缶詰)の製造体制を構築する設備投資
株式会社太陽	高性能でありながら低負荷の高効率な耕耘爪の開発

【お問い合わせ先】

高知県地域事務局 高知県中小企業団体中央会 ものづくり補助金事業推進室
TEL:088-845-6222 FAX:088-845-8010 E-mail:info@kbiz.or.jp

高知県で働くすべての方へ。
意識したことありますか？

最低賃金

高知県

これまでの
最低賃金
664円

677

時間額
円

【発効日】

平成26年10月26日からやきね!

必ずチェック最低賃金!使用者も、労働者も。
◎最低賃金についてのお問い合わせ先

高知労働局(賃金室:TEL088-885-6024)
又は最寄りの労働基準監督署まで



高知家のみんな
かわったきね!
最低賃金



チーム・エキスパートの解決力。



もしもの時は、損害サービススタッフ・保険代理店を中心、顧問弁護士、顧問医、アジャスター(損害調査員)がチームアプローチで解決します。

東京海上日動の自動車保険

東京海上日動火災保険株式会社 東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050

☎ 0120-868-100 午前9時~午後8時(平日、土日祝とも)

<http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

青年部活性化セミナー (秋の交流会)を開催

青年中央会情報



高知県中小企業青年中央会(永野正将会長)では、去る9月22日(火)午後4時よりザクラウンパレス新阪急高知において、青年部活性化セミナーを開催しました。

本セミナーは、近年経営環境が目まぐるしく変化する中で、中小企業の経営者・後継者にとって喫緊の課題となる「事業承継対策」を通じ、今一度自社の「企業経営」を見直すキッカケとして頂く事を目的に開催。講師として株式会社ラダー経営ネットワーク・代表取締役・坂本力氏をお招きし、「変革期の事業承継・後継者育成 ～後継者を育成し承継を円滑に進める『現社長の心構えと後継者の姿勢と行動』～」と題してご講義頂きました。

セミナーでは、企業経営者や後継者が理解しておくべき原理・原則や事業承継を円滑に進めるためのポイントについて、事例なども参考にしながら説明が行われ、当日参加した青年部員等35名は熱心に聞き入っていました。

また、セミナー終了後には懇親会も開催し、参加者は交流親睦を深めていました。



セミナー



坂本講師



懇親会

組合青年部全国講習会(福井県)に出席

去る10月4日(土)福井県あわら市で開催された平成26年度組合青年部全国講習会(主催:全国中小企業青年中央会)に出席しました。

同講習会には、全国から約200名の中小企業組合に所属する若手経営者・後継者及び青年中央会事務局担当者が参加し、はじめに全国代表者会議において、「全国青年中央会に期待すること」をテーマにグループ討議を行いました。

続いて全国講習会では、発創デザイン研究室・代表・富永良史氏をファシリテーター(進行役)として「全国アウ・シル・ツナガル交流会」を開催しました。交流会では多様な出会いと交流を生み出し、より深い繋がりを形成するため、参加者全員が3人一組の小グループ分かれて自身の性格や出身地の特徴、青年部のこれからについて発表・意見交換を行いました。講習会後には懇親会も開催され、出席者一同、和やかな雰囲気のもと親睦・交流を深めていました。

また、翌5日(日)には開催県である福井県青年中央会主催によるエクスカッション(第7回ふくい青年中央会まつり)も開催され、各ブースでは福井県青年中央会の会員青年部が普段仕事で使用する道具や材料を用いた仕事体験コーナーやゲームが行われ、会場は一般参加者も含めて多くの人で賑わっていました。



全国講習会



懇親会



ふくい青年中央会まつり

PICK UP! 先進組合

来街者の安全・安心を守るために防犯カメラ・AED 設置

新鳥取駅前地区商店街振興組合

〔所在地〕 鳥取県鳥取市今町二丁目211
〔TEL/FAX〕 0857-26-3330/0857-26-3331
〔組合員数〕 86人
〔組合専従者〕 5人
〔出資金〕 43,576千円
〔URL〕 <http://www.eki.or.jp/>



開閉式の大屋根「バード・ハット」

■背景・目的

鳥取市は犯罪の非常に少ない安全な町であったが、近年、駅前地域で凶悪な犯罪が増加してきた。平成21年度に起こったタクシー運転手強盗殺人事件をはじめ、近隣商店街で起こった強盗事件やひったくり事件等、小さな事件も含めれば1年間に多くの凶悪な事件が起こり、商店街は安全だといいたくない環境となった。特に地方都市においては、事件・事故の発生率が低く、市民に安心で安全な町という意識が高く、消費者も高齢者が多いことから、もしものことが発生した場合に来街者離れになることが懸念されるため、「安心で安全の商店街」の積極的な対応が迫られていた。

■事業・活動内容

当組合では「人と環境にやさしさ」のスローガンを立て、来街者の安心・安全のまちづくりを目指すために平成22年の新アーケード・歩道完成に併せて来街者用としてAEDを1箇所設置した。これをきっかけとして、犯罪発生率の減少と来街者の安全確保のために鳥取市の「商店街にぎわい形成促進事業」を活用して防犯カメラを14台設置した。

また、組合員の環境整備につながるエコ活動として飲食店で発生する生ゴミを民間廃棄物処理業者とコラボレーションし、液体肥料(有機土壌活性液)にリサイクルする取り組みを行った。リサイクル肥料は近郊の農家で使用し、生産された野菜は、商店街の飲食店等で食材に活用するほか、当組合内で実施している日曜市(お袋市)において市民に直販し、好評を得ている。エコ活動を実施するにあたっては、鳥取県中央会の支援を受け、全国商店街振興組合連合会の商店街実践活動事業補助金を活用して取り組んだ。

■成 果

「人と環境にやさしさ」をスローガンとして打ち出した取り組みによるAEDの1箇所設置、犯罪発生率の減少と来街者の安全確保のために防犯カメラを14台設置した効果は、設置後、商店街内での事件が大幅に減少し、来街者のマナー改善に大きく貢献しているとともに、当組合のイメージアップに大きくつながっている。加えて県内の商店街では未着手の事業展開でもあるため、ほかの模範となる活動となっている。

また、環境面における生ゴミを民間廃棄物処理業者とコラボレーションし、液体肥料にリサイクルする取り組みも組合員の環境意識を高めたほか、事業展開を来街者に積極的にPRしたことにより当組合に対するイメージアップにもつながり、高い評価を得ている。

地域農産物の共同販売、商品開発による添田ブランドの構築

道の駅歓遊舎ひこさん出品者協同組合

〔所在地〕 福岡県田川郡添田町野田1133番地の1
〔TEL/FAX〕 0947-47-7039/0947-47-7041
〔組合員数〕 321人
〔組合専従者〕 26人
〔出資金〕 11,550千円
〔URL〕 <http://www.kanyuusya.com/>



添田町屋の野菜がずらりと並ぶ店内

■背景・目的

添田町は、農林業と霊峰「英彦山」を有する観光地である。金の原台地を中心とした標高100m~600mに農地があり、野菜、花の栽培が盛んな町である。しかし、近年は農林業を営む者の高齢化、人口減少、過疎化、遊休農地の増加が進んでいた。そのため、これらに対応するため平成7年に「新しい農業をつくる委員会」などのプロジェクトが町内に設立され、平成11年11月に20名の出資者により任意団体の添田物産振興促進協議会を組織し、ふれあい物産センター「歓遊舎ひこさん」として13年間運営を行ってきた。今回の指定管理者制度の導入により、4月から利用者(出品者)自らが運営者となる協同組合組織を設立し運営している。

■事業・活動内容

店舗運営・管理は、専務理事である所長と支配人が主に行っている。田川地区には、4つの道の駅があり競争が激しくなっている。そのため、当組合では「添田ブランドづくり」のためにオリジナルな商品開発とともに地域産品だけを出品するというこだわりを持って対応している。

■成 果

道の駅で委託販売を行う農林産品、農産加工品は町内産品とする従来からの方針を続けており、家庭菜園から商品開発への取り組みを行っている。そして、それらの農林産品(主に生鮮品である野菜)の販売期間延長のため、加工品の研究開発、製造も増えて売上は向上している。

添田町では、ブランド開発係を設置し、添田ブランド育成のための加工品セミナーなどを開催している。開発された商品も当組合で多数販売され、添田ブランド商品が徐々に確立されつつある。

当組合は、女性の組合員が3分の2を占めていることから、女性の経営視点から事業を遂行していくことで、事業活動に参画、従事するものには、生きがい、働きがいのある職場となっている。また、当組合は、街の中心的施設になっていることから、各種イベント会場としても大きな役割を果たしている。

中小企業庁からのお知らせ

中小企業・小規模事業者の皆様へ

「専門家派遣事業」をご利用下さい

「新しく事業を始めたいけど、何から手をつけていいかわからない」「資金調達の方法が分からない」「そろそろ海外との取引も開始したいけど実績がない」「ITを活用して、販路拡大を実現したい」
そんなときは、ひとりで悩まず、専門家に相談してみましょう。専門家派遣事業では、中小企業の経営に関わる各分野の専門家が、課題解決の第一歩に向けたお手伝いをします。



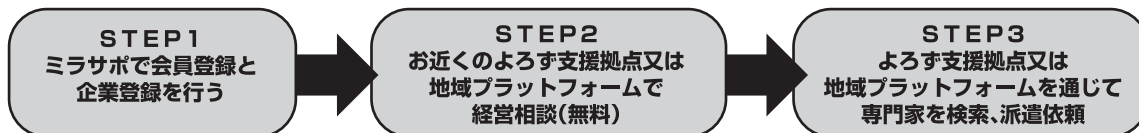
中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業
(専門家派遣事業)

<https://www.mirasapo.jp/>「ミラサポ」にアクセスして下さい

～～経験豊富な専門家が無料でサポート～～

中小企業・小規模事業者・創業希望者の皆様のもとへ、経験豊富な専門家がお伺いし、様々な経営課題に関するアドバイスを実施します。専門家派遣は、年間3回まで無料でご利用いただけます。まずは、お近くの「よろず支援拠点」又は「地域プラットフォーム」までお問い合わせください。

◎専門家派遣ご利用の流れ



◎専門家とは

税理士、公認会計士、弁護士、中小企業診断士その他の公的資格を有する者等、豊富な経営支援の実績のある方です。支援機関の推薦を受けた全国の専門家が、みなさまの悩みに対応します。

◎経営課題の例

①経営革新、②地域資源活用、③農工商等連携、④連携、⑤海外展開、⑥創業、事業再生及び再チャレンジ、⑦事業承継、⑧ものづくり、⑨ITを活用した経営力強化、⑩知的資産経営、⑪雇用・労務関係、⑫資金繰り、⑬販路拡大・販促支援、⑭債権保全・債権回収、⑮契約・取引、等

◎お問い合わせ先

本事業の詳細につきましては、下記までお問い合わせ下さい

- | | |
|---|--|
| <p>(1) 高知県よろず支援拠点
高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館 5階
TEL:088-846-0175、 FAX:088-855-3776</p> | <p>(2) 高知県地域プラットフォーム「チームよさこい」
(代表:公益財団法人高知県産業振興センター)
高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館 2階
TEL:088-845-6600、 FAX:088-846-2556</p> |
|---|--|

新型定期預金 マイハーベスト

1年・2年・3年 固定金利・半年複利



人を思う。未来を思う。

商工中金

高知支店 088-822-4481

〒780-0870 高知市本町4-2-46

●ザ クラウンパレス新阪急高知並び



高知高齢・障害者雇用支援センターからのお知らせ

事業主の皆様へ

「障害者雇用納付金制度」の対象事業主が拡大されます

平成20年12月に「障害者の雇用の促進等に関する法律」の改正が行われ、障害者雇用率制度及び障害者雇用納付金制度に係る改正が順次施行されております。

これに伴い、平成27年4月から、障害者雇用納付金制度の適用対象範囲が下記の通り変更されますのでお知らせ致します。

「障害者雇用納付金制度」の対象事業主が拡大されます
～平成27年4月から、常時雇用している労働者数が100人を越える事業主が対象になります～

適用対象になると

平成28年4月から、前年度の雇用障害者数をもとに、

- 障害者雇用納付金の申告を行っていただきます。
- 障害者の法定雇用率(2.0%)を下回る場合は、障害者雇用納付金を納付する必要があります
- 障害者の法定雇用率を上回る場合は、調整金の支給申請ができます。

制度適用から申告・納付開始までのスケジュール

	～平成27年3月	平成27年4月 ～平成28年3月	平成28年4月～
適用対象となる 事業主の範囲	常時雇用する労働者数が 200人を越える事業主	常時雇用する労働者数が 100人を越える事業主	申告・納付開始

詳しくは独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構ホームページ(<http://www.jeed.or.jp/>)をご覧ください

高知高齢・障害者雇用支援センター

TEL:088-861-2212 FAX:088-861-2214



©光プロダクション

**信用保証で
高知の中小企業を
応援します**

高知県信用保証協会

高知県信用保証協会

検索

**.com
BANK**

あなたと未来を創る

金融機関から「金融サービス企業」へ・・・
真にお客様から信頼され、
お客様に有益な商品・サービスが
提供できるよう全役職員が
「意をひとつ」にして
取り組んでいます。

高知信用金庫

〒780-0822 高知市はりまや町2丁目4番4号
TEL:088)882-2525 FAX:088)882-1115

ドットコムバンク

検索

飛耳長目



中長期的な成長力の 引上げに向けて

前日本銀行高知支店長
杉浦 俊彦氏



冒頭から唐突な話ですが、クイズを1つ。

①調査開始以来の50余年で過去最高。②バブル期の余韻が残る90年代初並みの高水準。これ、何の話だと思いますか？—答：①は高知県の有効求人倍率。有効求人倍率とは「仕事を探している一人に対し、平均して何件の仕事が集まっているか」を表す指標で、昨年11月以降、ほぼ一貫して過去最高値を更新し続けています（今年7月は0.86倍）。②は日本銀行の「短観」調査でみた、高知県の企業約120社の景況感。「景気が良い」と答えた企業の割合が、「悪い」と答えた企業の割合より何%多いかを示す指標で、昨年12月から今年9月の調査結果のことです。

日本経済は、昨年以降、消費税率引上げの影響による振れを伴いつつも緩やかな回復基調をたどっています。高知県経済もまた「全国に比べて力強さやペースに差があるほか、今夏の台風・豪雨の影響なども注意深く見ていく必要がありますが」基調的には緩やかに回復しつつあります。

ただ「そうはいっても、現状が過去最高とか、90年代初並みの好景気とは思えない」という方も多いでしょう。こうした違和感を生む一因が、今回の話題…「日本経済の中長期的な成長率の低下」という問題です。

図表1の折れ線グラフは、日本経済の潜在成長率——一時的にはなく、中長期的に実現可能な成長率——を試算したものです。日本経済の潜在成長率は、90年代初までは年率3〜4%台でしたが、90年代後半以降は1%前後に、リーマン・ショック後の2009年以降は0%台半ばにと、大きく低下しています。

潜在成長率は、また、「中長期的に実現可能な供給能力—生産・販売能力（厳密には「付加価値の創出力」）—の伸び率」ともいえます。「潜在成長率が低い中での景気回復」という現状は、例えてみれば「50人乗りの小型ジェット機が毎便満席で1日20便、フル操業している」感じでしょうか。確かに「商売繁盛！」ですが、総乗客数は1,000人。「500人乗りの大型ジェット機でフル操業」の場合とでは売上げが随分違います。

前述のとおり、日本経済の潜在成長率は何年も前から低下していましたが、景気が低迷し、需要が減少していた時期には問題になりにくい——先ほどの例えでいえば、乗客が少なく、小型ジェット機で余裕をもって運んでいた——状況でした。しかし、高水準の公共投資や異次元の金融緩和による下支え

もあって、景気が回復してきた昨今、潜在成長率の低下（供給能力の低下）がさらなる景気回復や経済成長を実現するうえで「ハードル」として改めて問題になってきました。

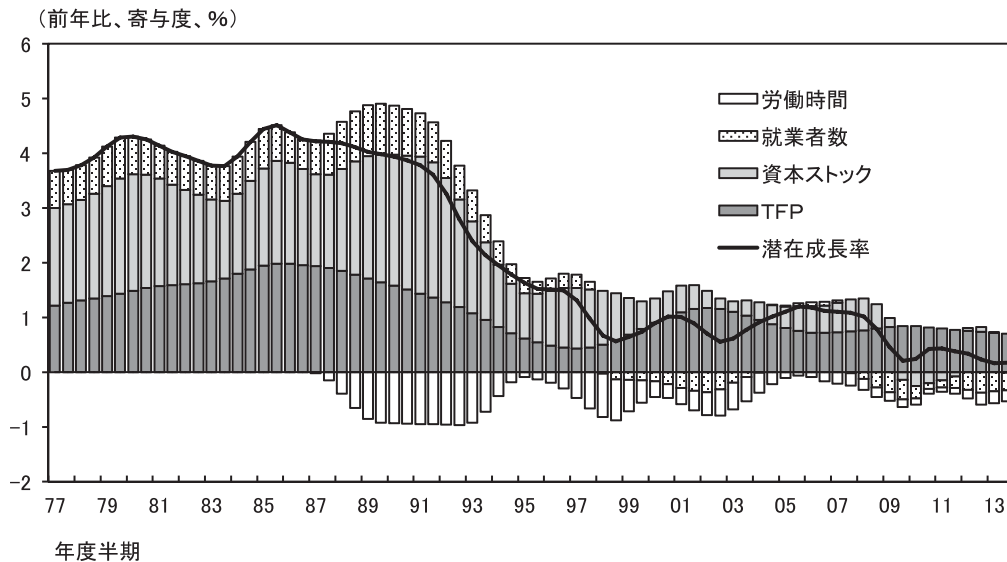
供給能力が低い（機体が小さい）と、「せっかく増えた需要（お客様）を逃す」リスクがあります。昨年頃から、建設業界の人手不足やコスト高を眺め、店舗の新増設を見送る企業が散見されるのも、こうした一例です。また、供給能力が低く、需要が増えても生産や販売が増えずに経済が伸び悩んでいると、景気に悪影響を及ぼすショック——海外景気の後退や紛争による資源価格の高騰等——への抵抗力も弱まります。高度1万mを飛ぶ大型ジェット機であれば、少々の乱気流でも平気ですが、低空飛行している小型ジェット機では、ちよつとした下降気流で墜落するリスクがある、というイメージでしょうか。

では、日本経済の潜在成長率（中長期的な供給能力の伸び）はなぜ低下したのでしょうか？企業の生産・販売能力は、①労働力、②各種の設備、③技術進歩や「+α」の価値を生む創意工夫等に依存します。図表1の棒グラフは、これらが日本経済の潜在成長率にどう影響してきたかをみたものです。労働力のうち、労働時間は、週休2日制の導入等の時短の動きや、非正規雇用の増加等を背景に、80年代後半以降、潜在成長率を下押ししてきました。また、就業者数も、労働人口の趨勢的な減少——特に近年は「団塊の世代」の方々が大勢リタイアした——により、90年代後半から押下げ要因に転じています。一方、資本ストック（設備）は、長らく潜在成長率を大きく押上げてきましたが、リーマン・ショック後には、企業が設備投資を抑制する中で、過去数十年間で初めて押下げ要因になりました。

潜在成長率を再び高めるには、これら労働力や設備、技術革新や創意工夫を伸ばす必要があります。労働力の面では、昨今「女性が一層活躍し易い社会」に向けた取り組み強化が謳われています。この点、高知県は、一人当たり県民所得は全国最下位クラスですが、夫婦等の所得を合算した一世帯当たりの所得（高知市）は全国平均を上回っています（図表2）。もちろん、高知県でも「女性も、もっともっと輝ける社会」作りに取り組む必要はあります。次に、設備投資については、日本銀行は、①過去に例のない大量の資金を供給する異次元の金融緩和や、②日本経済の成長力強化に繋がる企業の取り組み―研究開発や事業再編、アジア諸国等での投資・事業展開、環境・エネルギーや医療・介護、地域再生、農林水産業・農工商連携、観光等の事業―に対して投融资を行う金融機関に、日本銀行が低利で資金を貸し出す制度等により、企業が投資資金をより調達し易い環境作りに努めています。

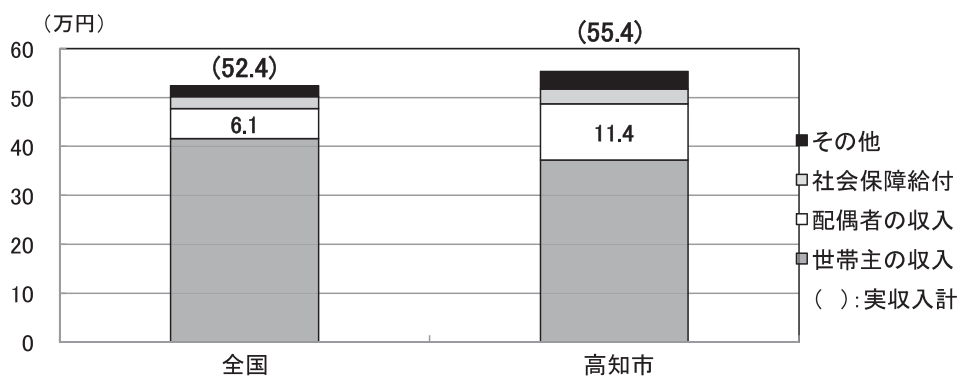
もちろん、労働力や設備の増加が、過剰雇用・過剰設備に繋がるリスクもあるため、顧客ニーズの発見・発掘が、まずもって重要です。また、図表1では、TFPが一貫して潜在成長率を押し上げています。TFP (Total Factor Productivity) とは、技術進歩や創意工夫等の効果のことです。自ら研究開発に取り組むこと、モバイルIT等の技術進歩の成果を上手く取り込んでいくこと、また何よりもお客様がより喜んで下さる商品・サービスを、より効率的・高品質に提供するための創意工夫―企業の皆様が常日頃ご尽力されている取り組み―の積み重ねにより、事業を拡充していくことが、まさにこれに当たります。その際、価値観の多様化や国内外の社会の繋がり等の緊密化等を踏まえれば、数多い土佐の偉人たちのように―広くそして深く内外に見聞を広めていくことも重要です。これら一つ一つの取り組みの成果が積み上がり、日本経済、高知県経済の再生に繋がっていくことが期待されます。

(図表1) 日本経済の潜在成長率



(資料) 内閣府「国民経済計算」、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」、総務省「労働力調査」、厚生労働省「毎月勤労統計」、「職業安定業務統計」、経済産業省「鉱工業指数統計」等

(図表2) 勤労者一世帯当たりの平均月収(2013年)

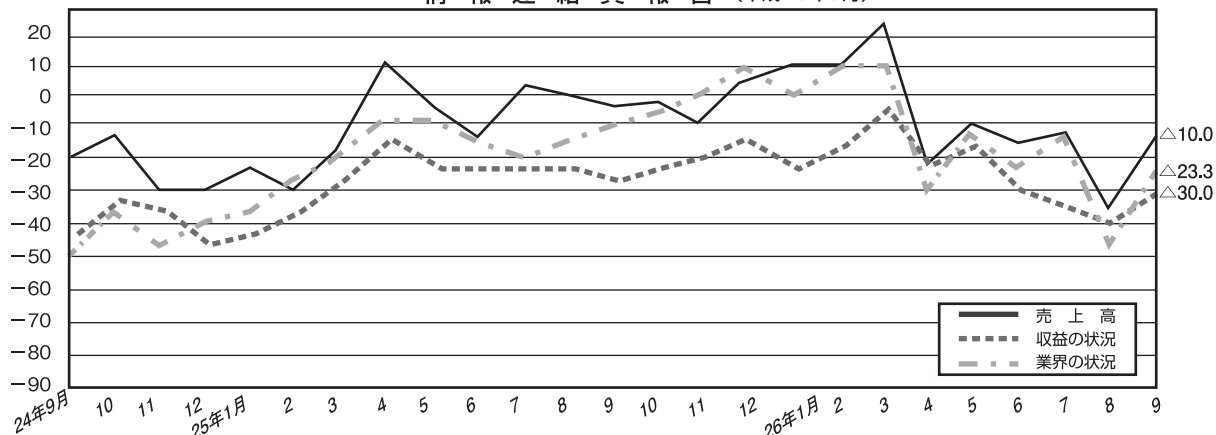


(注) 二人以上の世帯のうちの勤労者世帯を対象としたデータ。

(資料) 総務省「家計調査」

DI(景気動向指数)

情報連絡員報告(平成26年9月)



印刷

前半は先月からの夏枯れ傾向が続き低調に推移。後半から文化的イベント等の需要もあり盛り返す。押し並べると前年同月比は保った感。10月以降の秋需に期待したい。

食品団地

9月度商況は、例年ベースを維持している。雇用については、工場作業者(特に、パートタイマー)の確保・補充について、人材の確保が難しくなってきたように感じられる。又、賃金も上昇している。

生コンクリート製造

出荷数量は前年同月比 104%。高知市及び隣接地区を除き、生コン単価の上昇が「物価版」に反映された。高知市及び隣接地区の市況乱れは改善されていない。

酒類製造

売り上げは、ごく緩やかだが右上がりの状況となっている。在庫減少により製造開始時期がやや早まった。

機械団地

売上高は業種間でバラツキが見られるが、団地内の景況は全般に上向く傾向にある。

水産食料品製造

悪天候が引き続いていて、仕入れに關係する漁の具合がさっぱりである。シイラ、沖ウルメ、フナなどの売れ筋の確保が必要であるが、今後は懸念される。売上の方もどこも今一つの様である。

刃物製造

若干ではあるが、久しぶりに前年対比を上回った。在庫も少しではあるが減少した。下半期に向け上半期の落ち込みを取り戻したいが、如何なものか。

外衣・シャツ製造

海外に仕事が出る為、国内の仕事がない。儲かるのは大手企業のみ。大手企業は、安い工賃を求めて海外に仕事を出し、我々末端の零細中小企業は、あるとすれば安い工賃の仕事。負担ばかり強いられるのが現状である。

船舶製造

操業度は高水準で推移している。

木製品素材生産

9月の入荷量については、スギ・ヒノキともに8月の極端な数量落ち込みに対し、2~3割増の回復基調。一方価格については両樹種ともに横ばい状況。

珊瑚装飾品製造

製品会取引高は、前年同月比より119%であった。業況に変化はない。

製材

原材料、製品共に価格に大きな変動なく、業界全般に不活発なトンネルから抜け出せない状態が続いている。

卸団地

県外資本の進出が増加し、既存店への影響が顕著。また、長引く円安のため、原材料費の高騰や輸送コストの増により景気は好転しない。

製紙

出荷・生産は通常。在庫は少々増加している。原料パルプが円安で価格が上がって困っている。円の高止まりは非常に厳しい状況。



商店街(四万十市)

今月は秋を感じる日もあったが、日中の気温が高く、本格的な秋冬商品の動きは例年よりやや遅め。そのため、売上も一般的にやや厳しかったのではないかと。9月14日に「よさこい四万十2014」が開催され、各商店街も演舞場となった。天候に恵まれ例年以上の人出があった。



青果卸売

8月の長雨、台風による後遺症が9月に入っても続いている。野菜、果実のそれぞれの状況は続いており、昨年9月の一昨対比の実績が良すぎた為(組合員平均110%)、今年9月度は販売高が前年比では落ち込んでいる。



旅館・ホテル

シーズン終了と前月来の異常気象の風評と雨天が続く等の理由により好転評価にはならず。



生鮮魚介卸売

前年同月と比べ約5%減となっている。魚価が上昇しているにもかかわらず販売額が上昇していないのが現状である。消費税が増税になったのも少なからず影響しているのでは？又、全体的に見ても消費が落ちているし、景気もまだまだのような気がする。



飲食店

若者が新しく開店するが、1、2年程度で閉める店が多いようだ。少子高齢化が原因か？喫茶店離れが原因か？古い店でも高齢化が進んでいるので、厳しいようである。居酒屋業界でも全国チェーンにおされ閉店が続いている。



各種小売(土佐市)

宇佐の港祭りは延期で9月になり、今回も雨が心配されたが、雨も降らずたくさんのお客で賑わった。天候が悪い日が多いと客足が鈍り、厳しい状況が続いている。



旅行業

組合クーポン売り上げ
前年対比98%、全旅クーポンを加味して109%
前年対比の総売り上げが前年割れを改善していないので、秋の旅行シーズンの動向に注目している。貸切バス運賃改定の影響を懸念している。



各種小売(安芸市)

安芸本町商店街では、古新聞・古雑誌を1箇所に集めて回収業者に売り、それを商店街に還元している。皆様の協力で大切な財源となっている。川北に11月オープン予定のケースデンキが建設中である。



一般土木建築工事

平成26年9月分の公共土木生コンは、対前年同月比90.5%、9月の公共土木工事は前年同月比金額で83.4%の水準。今後については、災害復旧工事や当初の予定工事などにより、下期は量として期待できる。ただ、人手不足や資材、燃料などの高騰が懸念材料となる。



ガソリンスタンド

原油価格は、3週連続で下落し、2012年7月以来の安値となったが、為替市場では2008年8月以来、6年ぶりの水準にまで円安ドル高が進み、9月下旬の原油コストは2週ぶりの上昇となった。高知県の市況は、8月下旬から値崩れしており、修復されずに9月末まで安値で推移した。



電気工事

組合員の施工する電力引込線関連の工事量は前年同月比79.8%であり、20%強の減少となった。前月と同じく、高知中央・南国方面の減が大きい。



電気機械器具小売

全体としては、ほぼ前年並み。大画面テレビが前年比15%アップ。全自動洗濯機は、好調である。



一般貨物自動車運送

組合実績は前年とほぼ同水準といえるが、組合員の車両、ドライバーは不足しており、ドライバーの確保のため賃上げをしても運賃の値上げはできず利益を圧迫している。



中古自動車小売

低迷状況が続いており、10月、11月に期待している現状である。消費税が10%になると、業界の打撃は大きく不安である。



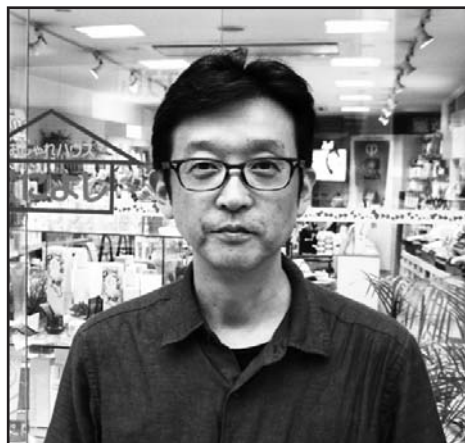
タクシー

【1車当たりの運送収入・輸送回数】
(前年比)収入: 8.4%増、回数: 5.5%増
(前月比)収入: 15.8%増、回数: 10.8%増
実働率が75~76%に落ち、乗務員不足が深刻である。稼働する車が少なくなるので、企業の総収入は大きく増えることはない。



商店街(高知市)

中央公園地下駐車場利用状況(前年比)
売上96.3% 利用台数96.5%
「リブロード」が8月末で閉店、新たなビルの建設計画が進行中で近々に発表されるものと思われる。また、中心部のバスターミナル整備が市議会で提案がなされ、注目されることである。



業界の現況は？

四万十市商店街の通行量調査における全地点合計を平成16年と平成24年で比較すると約40%減少しています。また、消費税増税後の消費動向については、駆け込み需要が多かった為、反動は覚悟していたものの、思った以上にお客様の財布の紐が固くなったな、というのが実感です。

このように、商店街を取り巻く環境は厳しいものがありますが、一方で、既に3名のチャレンジャーが商店街内で独立している「ちゃれんじshop TJB」や土佐銀行跡地開発等、商店街活性化が期待できる取り組みも増えており、今後注目しているところです。

ひとこと！

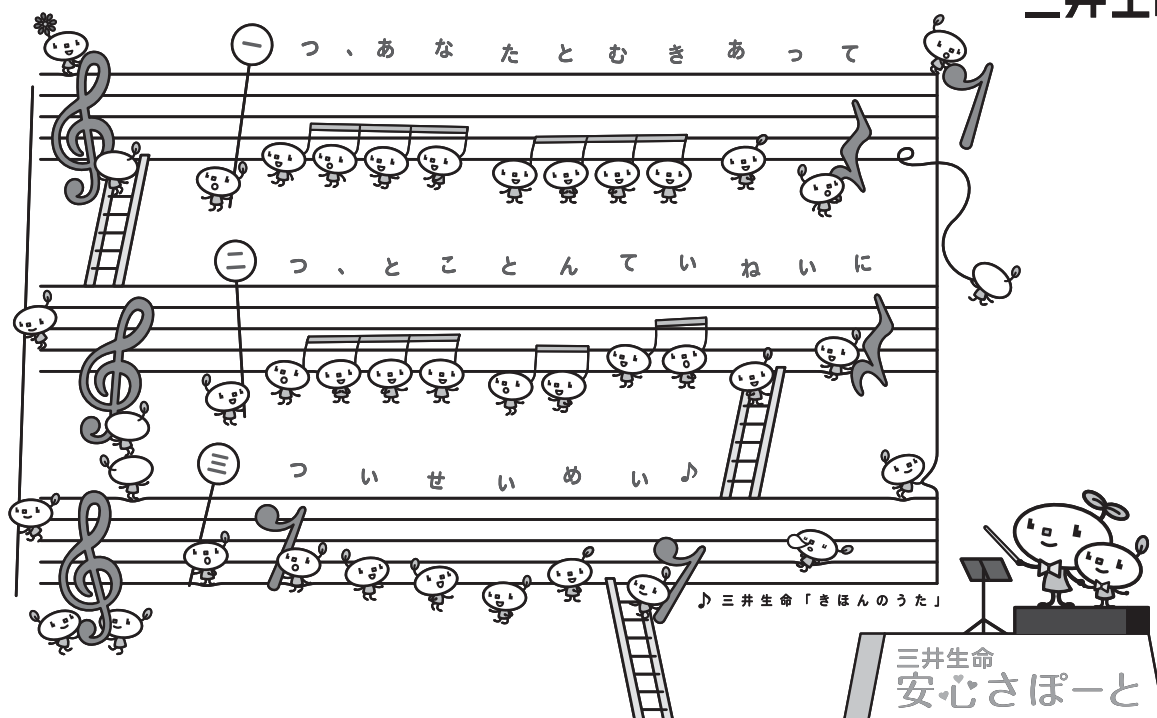
11月22日、23日、24日の3連休には、高知の三大祭の一つ「一条大祭」が開催されます。商店街ではお祭りに合わせて、恒例の「ワンコイン商店街」を開催する等、各種お楽しみイベントを催しますので、ぜひお越しください。

國吉 康夫さん
(四万十市商店街振興組合連合会)

情報連絡員さんの
横顔

だ い じ に し ま す 。 保 険 の き ほ ん 。

BESTパートナー
三井生命



三井生命保険株式会社

〒135-8222 東京都江東区青海 1-1-20 TEL:03-6831-8000(大代表) <http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

中央会実施共済制度一覧

- ・特定退職金共済制度…従業員の退職金準備
- ・オーナーズプラン…役員の慰労金・弔慰金準備
- ・パートナーズプラン…従業員の保障(個人加入)
- ・Jプラン(業務災害補償)…業務上はもちろん、通勤途上のケガ・災害を補償

※ご加入の際には、該当のパンフレットおよび高知県中央会の「退職金共済規程」にて詳細を必ずご確認ください。

【制度実施団体】

高知県
中小企業団体中央会

〒781-5101
高知市布師田 3992-2 高知県中小企業会館 4F
TEL (088) 845-8870
FAX (088) 845-2434

【特定退職金共済制度引受保険会社】

三井生命保険株式会社

【オーナーズプラン・パートナーズプランのお問い合わせ】

三井生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知市駅前町 1-8 第7駅前観光ビル 2F
TEL (088) 882-3402

【傷害保険(Jプラン)引受保険会社】

三井住友海上火災保険株式会社
取扱代理店：三井生命保険株式会社

※三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の
取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

B-26-1070(H26.4)

【使用期限H27.3】

三井-KB-26-77

制作・発行

つな
人を継ぎ、組織を育む

高知県中小企業団体中央会
<http://www.kbiz.or.jp>

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館4階
TEL 088-845-8870 IP電話 050-3537-1702 FAX 088-845-2434
E-mail info@kbiz.or.jp